



浦安市議会議員(無所属)

柳きいちろう

浦安レポート

2019.3 vol.22

2期8年のまとめとこれから



Profile

柳きいちろう(本名:柳毅一郎)
 1984年(昭和59年)東京都文京区生まれ
 2002年(平成14年)明治学院高校卒業
 2008年(平成20年)早稲田大学商学部卒業
 2008年(平成20年)株式会社商工組合中央金庫入庫
 2011年(平成23年)浦安市議会議員初当選
 2012年(平成24年)慶應義塾大学大学院経営管理研究科中退
 2015年(平成27年)浦安市議会再当選(二期目)
 現在、浦安市議会教育民生常任委員会委員

与えられた職責を
 実直に全うする
 政策実現に近道はなし

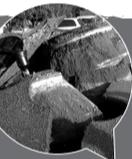
職責を全うするため、市議会において、一般質問(市政全般について、市に対して見解などを問う機会)や予算・決算に関わる委員会での発言は当選以来一度も欠かしておりません。同時に、市民の皆様の期待に応えるべく、政策提案型の質問を心がけてきました。政策提案型の質問とは、地域の優先的課題に重きを置き、客観的なデータや根拠を持って現状の政策・施策の課題を発見し、改善を図るために行うためのものです。今回、2期目の任期が迫る中、自身の議会での主な活動成果についてまとめましたのでご覧いただきたく存じます。

市議会議員2期8年
 (2011、2019年)
 の主な議会活動実績

いち早く、そして繰り返し、老朽化する公共施設の維持管理施策について課題点を指摘し、総合的な計画策定を提案(2011年9月議会)

2016年6月に浦安市公共施設白書が作成され、平成30(2018)年度施政方針演説の中では内田市長が市政の最重要政策課題として取り上げる。公共施設で大規模改修が実施され、今後多くが予定されている(下の図1を参照)。

震災時に機能しなかった耐震性貯水層の性能や運用について繰り返し検証を求め(2012年9月議会)



市として、震災時機能しなかった理由等の検証が行われ、調査報告書が作成される。

2012年10月に国土交通省が発表した「地震時等に著しく危険な密集市街地」において千葉県で唯一指定された木造住宅密集地域(堀江二丁目・三丁目の各一部と猫実二丁目の一部)について対策を要望(2013年3月議会)

2018年6月に密集市街地防災まちづくり方針が策定されるなど、現在主要政策課題として改善が進められる。

浦安市にとって潜在的に必要である施設と考え、リハビリ病院について議会でもいち早く対策を要望(2013年12月議会)



以後、高洲にリハビリ病院の誘致が決定し、改善が図られる。

明海のイトーヨーカドー跡地について商業施設の継続を議会にて要望(2016年9月議会・2017年6月議会)



018年9月にニューコースト新浦安がオープンとなる。

市内の鉄道路線におけるホームドアについて設置を要望(2016年9月)

↓社会情勢も相まって東西線浦安駅は2025年度までに設置予定と発表される(2017年6月)
 ↓その後、議会からもホームドア設置について意見書が満場一致で出される(2017年9月)
 ↓ホームドアではないが、舞浜駅ホーム延伸事業が検討される。

議会改革 政務活動費の領収書をHPで公開することに寄与(2017年3月議会)

政務活動費の領収書をHPで公開するよう求めた住民からの請願の紹介議員になる。採決の結果「採択」となる。現在市議会HPにて公開済み。

公共施設の維持更新についての直近の実績及び今後予定されている施設 (浦安まちづくり3か年計画より)

福祉施設

- 見明川認定こども園(2019年改修予定)
- 富岡幼稚園(2020年改修予定)
- 富岡幼稚園(2020年実施設計予定)
- 堀江認定こども園(2020年実施設計予定)
- 総合福祉センター再整備(2020年再整備予定)

生涯学習施設

- 中央公民館(大規模改修し2018年7月開設)
- 美浜公民館(2019年改修予定)
- 中央図書館(大規模改修中)
- 市民プラザ(2019年改修予定)
- 運動公園(再整備)

学校教育施設

- 浦安中学校(大規模改修増築済)
- 美浜北小学校(2019年改修予定)
- 見明川中学校(2019年改修予定)
- 富岡小学校(2020年改修予定)
- 美浜中学校(2020年改修予定)
- 美浜南小学校(2020年実施設計予定)
- 富岡中学校(2020年実施設計予定)
- 東小学校(2020年基本設計予定)
- 舞浜小学校(2020年基本設計予定)
- 南小学校屋内運動場(建替済み)

基本設計：市と業者での見積もりや打ち合わせのための設計
 実施設計：施工業者や施設設備業者などの施工のための設計

直近の市政の最重要政策課題に関する自身の活動実績について

内田市政では公共施設の「リノベーション」をテーマとし、最重要の政策課題として、自身が訴えてきた政策が
かたचितし

議会活動として、自身が初当選して震災対応とともに、すぐに提言したのは、公共施設や公共インフラの老朽化対策でした(2011年9月議会)。東洋大学教授の根本祐二氏の「朽ちるインフラ」(2011年5月 日本経済新聞社発行)を読み、「これは何とかしなくては」と思ったのが経緯です。以来、公共施設・インフラの老朽化は潜在的にも構造的にも本市にとって問題(耐震等の安全性や財政的課題)であることを一般質問・委員会質疑で何度も訴えさせていただきました。その後、公共施設の基礎調査を行っていただき、2016年6月に浦安市公共施設白書(施設の長期的な保全や利活用についてまとめられたもの)が作成されました。そして平成30年度予算における内田市長の施政方針では、このテーマを主要政策課題として取り上げられました。テーマ的に地味なものです。ですが、すこく大切と思ひ発言し続けてきた政策も口

の目を見ております。

参考までに大規模改修が実現・予定されている具体的施設については、表面の図1をご参照下さい。また今後については、図表の公共施設以外にもごみ処理施設の長寿命化、道路や橋といったインフラの維持修繕等もあり、財政の数字を見ながらどの程度費用がかかるのか見極めつつ政策を進める必要があります。人手不足で全国的に入札不調になっている工事も散見されることや消費税率10%への改定等を考慮すると、決して楽観できる数字ではないはず。



▲改修が予定される美浜北小学校

今後の浦安市をどうよいうにするか3つの重点課題と対策

柳の老朽化メンテナンス

構造的な課題である少子高齢化に全世代の力を合わせ真正面から挑むこと

少子高齢化といった人口構

造の変化に全世代の力で頑張らなければなりません。まず希望出生率をかなえる環境整備を行う必要があります。その為に本年10月に予定されている幼児教育(幼稚園・保育園等)無償化を推進し、幼児教育の充実を図る必要があり。同時に保育士の給与、待遇、働き方についての総合的な支援を行い、保育士の量と質を確保する必要があります。需要の増加が予想される0・2歳児の待機児童については民間の保育施設の誘致や小規模保育所の整備に積極的に取り組み、待機児童ゼロを目指します。

また高齢者については、健康長寿社会の実現に向けて在宅サービス、施設サービス、地域密着型サービス、地域包括センターなどの介護支援の強化を図り、浦安版地域包括ケアを推進します。さらに将来的には、全世代・全対象型地域包括ケアシステム構築について実現することができればと考えております。また元

気な高齢者には、生きがいややりがいを持ち、働ける場や社会参加できる場を作り、この難局を突破するためのお力を貸していただきたいと考えております。

老朽化するまちをリニューアルし、都市型災害に強いまちづくり

改修が必要な昭和50年代



▲舞浜駅周辺は新たに再整備計画がすすむ

に整備された公共施設を着実に維持更新していくことが重要です。解体し新規建設する予算などは、これからの時代ありえませんが、既に既存施設をリノベーションし、大事に使うかが重要な視点となります。

そして本市の玄関口である浦安・新浦安・舞浜駅周辺の再整備を行い、凸凹の道路を着実に直すなど、街なみをキレイに整え、「住んでよし、訪れてよし」の環境整備を推進いたします。

また今後、発生が危惧される大規模地震や近年多発する都市型の集中豪雨等の水害に対応する必要があります。まず集中豪雨対策には、雨水排水施設の整備を推進し機能強化を行うとともに、河川や海岸護岸の整備促進を千葉県と連携しながら行う必要があります。高潮対策については、境川河口への水門・排水機場整備を千葉県に対し粘り強く要請します。

強い財政力の堅持

平成29年度決算において本市の財政力指数は約15と全国自治体のなかでは依然としてトップクラスに位置しています。

2017年度財政力ランキング

順位	自治体	財政力指数
1位	飛島村(愛知県)	2.15
2位	大熊町(福島県)	1.7
3位	泊村(北海道)	1.66
4位	六ヶ所村(青森県)	1.64
5位	みよし市(愛知県)	1.53
6位	軽井沢町(長野県)	1.53
7位	豊田市(愛知県)	1.52
7位	浦安市(千葉県)	1.52
9位	武蔵野市(東京都)	1.51
10位	東海村(茨城県)	1.46

※総務省平成29年度地方公共団体の主要財政指標一覧より作成

しかし本市の開発面積の減少や人口構造の変化等による成熟化により市税収入の大幅な伸びが見込めないことが予想されます。そのような①人口構造の変化による社会保障関連経費②各公共施設の改修事業③災害対策等まちづくりに関する都市基盤整備費など財政需要の増加が予想されます。

そのため今以上にコストと時間にこだわる行政改革を行う必要があります。とりわけ市役所の労働生産性を高めるためにIoT(モノのインターネット)やRPA(定型作業の自動化ソフト)、AI(人工知能)を積極活用し、省人化・合理化を図ります。またアウトソーシングやPF(民間資金活用による社会

資本整備)、官民連携協定など、民間活力を積極的に活用し、住民サービスの向上とコンパクトな行政の両立を図るために、あらゆる手段を講じます。また、将来世代への禍根を残すような予算の使い方には、しっかりと目を光らせます。

そして、EBPPM(エビデンス・ベースド・ポリシー・メイキング 証拠に基づく政策立案)を推進し、財政的側面から、最小の努力で最大限の効果を生み出せるよう取り組んで参ります。何より、場当たり的な取り組みをせず、データに基づき有効性の高い政策を打ち出し、住民への説明責任を高める必要があります。また課題が出てから対応するのではなく、データ予測から先手を打って対策を講じることを大事とします。一方、ただ単にすべてのコストを減らすだけでなく、将来的に、投資効果が高いと判断される事業については、しっかりと要望を行って参ります。

柳きいちろうへの連絡はこちらからお願いいたします。

住所 279-0013
浦安市日の出 1-3-3-1203
TEL
050-3630-8791
E-mail
kiichiro.yanagi@gmail.com